

## 2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームゆりの郷

作成日 令和元年5月31日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 7 26 36 37 38 48 49	理念3、「あなたの想う世界、生きている世界、地域とのふれあいを大事にします。又、あなたの良き理解者となり、あなたのご家族同様、親身になって生活のパートナーとなります」を、利用者一人ひとりに思いを馳せ、より具体的なケアの実践に繋げる。	利用者の尊厳を大事にし、一人ひとりに寄り添ったケアに努める。 ※寄り添うとは、本人にとって居心地よく過ごせる場所（環境）を一緒に探し続けていくこと。	①高齢者の尊厳及び認知症ケアについて学ぶ。自分のケアを振り返り、学んだことをケアに活かす。 ②利用者一人ひとりの生活歴、性格、心身状態を把握し、介護サービスを専門的に提供する立場であることを認識する。（お世話させていただくケア） ③笑顔で楽しい会話、タッチケアで温もりのあるケアを実践する。 ④全職員が同じ考えで統一したケアを実践する。状態変化時、再検討する（ケアプランのサービス内容を確認） ⑤不穏状態時は、職員同士連携を図り、利用者の対応を優先する。 ※業務を優先しない。 ⑥不適切な言葉かけやケア、記録は職員間で注意し合う。 ⑦職員会議において、職員個々のケアを発表し評価を行う。	2019年度中

2	11 13 26 27	職員同士アットホームで和やかな雰囲気であるが、能動的・自律的に動く組織としての機能をさらに高める必要がある。	介護リーダーを中心として、介護職員個々が経験と知識に基づいた根拠のあるケアの提供が可能となる。	①組織図及び担当係を確認し、自分に与えられた役割を意識した行動を取る。 ②先輩職員は、新人職員に対して、その手法を実践している理由を説明（根拠を示す）し、新人職員が納得した業務が行えるようにする。また、新人職員から学ぶ姿勢も大切である。 ③あらゆる面で気がつく職員は、気がつかない職員に対して、実際に自分が実行しながら見せる。（具体的な指示を示しイメージを持たせる） ④職員同士の遠慮・保身を考えず、定期的に行う職員会議で、個々の意見を述べ話し合うことでケアの統一を図る。 ⑤気づきや提案等を気づきノートを活用し情報共有を図り、ケアに繋げる。	2019年度中
	3				
	4				
	5				

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。